

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌ウイルス	2023年												9月 ~3日	9月 ~10日				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			5月	6月	7月	8月
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	49	6 (1)	8
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	56	13 (2)	16
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	1	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	6	5	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	15	2 (2)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	11	3	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	2	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	1
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和5年第36週(9月4日~9月10日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5		1	2	1	1		
三類	0	発生なし	0							
四類	5	日本紅斑熱	2			2				
		レジオネラ症	3		2	1				
五類	9	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2				1		1	
		急性脳炎	1		1					
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		梅毒	5					5		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり14.89人の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。手洗い、こまめな換気、医療機関受診時等の効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり1.56人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、例年より多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が3件報告されています。

県内では、西部東保健所管内で定点当たり10.50人(第35週)と注意報開始基準値(定点当たり10)を上回ったため、広島県は9月7日、県内に「インフルエンザ注意報」を発令しました。

手洗い、咳エチケットの励行、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

3 手足口病

定点当たり4.04人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理などの感染予防対策を心がけましょう。

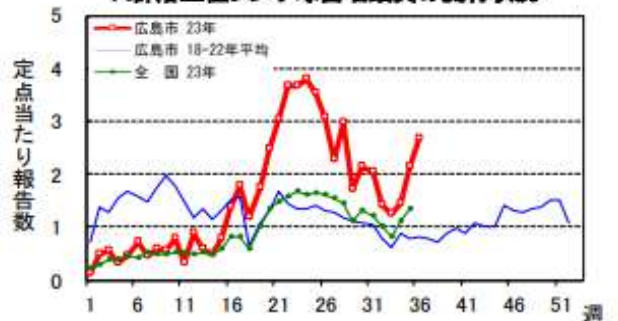
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.67人の報告があり、増加しています。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	56	1.56	0.11			小児科	ヘルパンギーナ	24	1.00	0.94		
	新型コロナ(COVID-19)	536	14.89					流行性耳下腺炎	-	-	0.03		
小児科	RSウイルス感染症	9	0.38	1.67			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.23				流行性角結膜炎	1	0.13	0.58		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	2.67	0.83			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	68	2.83	2.84				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	7	0.29	0.13				マイコプラズマ肺炎	-	-	-		
	手足口病	97	4.04	1.01				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.06				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		
	突発性発しん	4	0.17	0.34									

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	93	10歳未満
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	60歳代
5	梅毒	5	207	20歳代・3人、40歳代・推定感染地域: 国外・1人、50歳代・1人